

和歌山県立文書館「授業で使える和歌山の資料」 【解説シート：高野山と大衆文化】

日本史探究：時代による人々の高野山に対するとらえ方の違いは何だろう？

() 年 () 組 () 番 名前 ()

資料 1 () 像 問 1. 平安時代初期、高野山に寺院を立てた資料 1 の人物は誰でしょうか。



問 2. あなたは高野山に行きたいですか。その理由は何ですか。



「ColBase」(https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-11791?locale=ja) をもとに当館が一部改変

☆今回は、時代による人々の高野山に対するとらえ方の変化についてみていきます。

今回のテーマ

時代ごとの高野山について学び、そのとらえ方の変化を考える。

資料 2 平安時代末期の高野山について

天治元年(1124)鳥羽上皇が登山し、奥之院で法会を行った。このとき、東西両塔造立の宣旨があり、新たに別所聖人三十口が結成された。(中略)11 世紀の中葉に高野山南別所の名があらわれ、12 世紀初頭にかけ小田原別所・東別所・往生院別所の各別所が成立し、高野聖の数は急速に増加したことを物語っている。彼らの唱導活動によって、高野浄土信仰が全国的に普及され、「三徳」と称する参詣の功德が宣伝され、納骨(髪)・埋経が盛んとなった。信仰面に限らず、財政面においても、彼らの勧進活動に負うところは大きかった。

出典：『和歌山県史 原始・古代』

問 3. 資料 2 や資料 3、解説シート、教科書を参考に、高野山について時代別に説明してください。

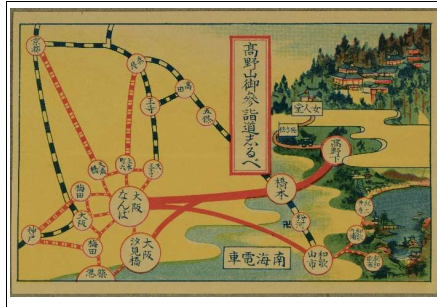
平安時代初期
平安時代末期
江戸時代
明治時代初期

資料 3 江戸時代の高野山について

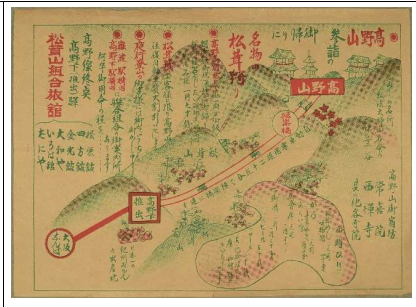
天下の霊場として当山への参詣者が増えるにつれ、寛文年間(1661~73)には、「高野山通念集」という案内記があらわれるが、他方参詣道の整備もすすみ、高野七口といわれる 7 つの街道が成立した。山内へのそれぞれの入口を、大門口、不動坂口、大滝口、龍神口、大峰口、黒河口、相浦口と称し、各口には女人堂が設けられた(女人禁制のため、女性はここから山内を拝した)。

出典：『和歌山県史 近世』

資料 4 高野山御参詣道しるべ



資料 5 高野山宿坊、松茸山組合旅館等各種案内広告



資料 4 和歌山県立文書館寄託 岩崎家文書 整理番号 2623 「高野山御参詣道しるべ・大阪難波高野下間電車発着時刻表」

資料 5 同上 整理番号 2624 「高野山宿坊、松茸山組合旅館等各種案内広告」
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/kyouiku/menue/index.html>

問 4. 資料 4、資料 5 には何が描かれているのでしょうか。

資料 4	資料 5
------	------

問 5. 資料 4、資料 5 は人々に何を伝えたいのでしょうか。

資料 4	資料 5
------	------

問 6. 解説シートや教科書を参考に、大正時代はどのような文化が生まれたのか答えましょう。

問 7. 解説シートを参考に、高野山と女性との関係について答えましょう。

江戸時代
大正時代

問 8. 解説シートや教科書を参考に、職業婦人と呼ばれた大正時代の女性がたずさわった職業には、どのような共通する特徴があったのか答えましょう。

今回の問い：キーワードを 1 つ自分で設定して、その点から高野山の時代ごとの変化をまとめましょう。

※例 宗教、女性、人の移動など